

<p><b>学校経営ビジョン</b>  <b>自信と誇り、高い志を持つ自立した経済人の育成を目指し、地域および県民の負託に応える学校の創造</b></p> <p><b>本年度の重点目標</b></p> <p>(1) <b>学力向上</b>          普通教科、専門教科を問わず、授業を通して高い教養と専門性を身につけさせ、産業社会に貢献できる生徒の育成を目指す。</p> <p>(2) <b>自律した品格ある生徒の育成</b>          本校生徒としての誇りを持ち、言動に責任のある自律した品格のある生徒を育成する。</p> <p>(3) <b>部活動を通して高い人間力を持つ生徒の育成</b>          体育系部活動・文化系部活動とも、本校部活動の輝かしい歴史を継承するとともに、さらに高い目標に挑戦する。競い合い、助け合い、学び合う中で、高い人間性、人間力を持つ生徒の育成を図る。</p> <p>(4) <b>地域文化を担い、貢献できる生徒の育成</b>          地域社会と積極的に様々な交流を行うことで、生徒の見識を広めさせ、社会性や公共心の育成を図る。</p>	<p><b>【学校関係者評価のポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価の項目や指標は、適切に設定されているか。</li> <li>自己評価の結果は、具体的方策・指標等をもとにした妥当なものであるか。</li> <li>自己評価の結果を踏まえた成果と改善策は適切であるか。</li> </ul>
---	---

4段階評価	4：期待以上	3：ほぼ期待通り	2：やや期待を下回る	1：改善を要する
-------	--------	----------	------------	----------

【学力向上】 普通教科・専門教科を問わず、授業を通して高い教養と専門性を身につけさせ、産業社会に貢献できる生徒の育成を目指す。					
評価項目	具体的方策 または 指標等	取組の成果と課題 および 改善策等	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価コメント
教材研究、研究授業、授業評価を推進し、教科として質の高い、魅力ある授業を構築する。	① 積極的な授業振替および自習監督の改善を図る。 ② 年間指導計画の見直し改善を図る。 ③ 研究授業研修および授業評価を実施する。 ④ 新学習指導要領にあわせた教育課程を作成する。 ⑤ 校内ネットワークの保守管理を実施する。また、校務情報システムの活用を推進する。 ⑥ 主権者教育を実施する。	① 教諭の出張等時の授業対応として、事前に他の授業と振替を行い、自習が減少した。授業措置表の提出状況も良かった。 ② 各種調査・年間指導計画・学校行事・職員研修等、滞りなく実施できた。 ③ 全教科、研究授業の実施を計画しているが、実施されていない教科がある。 ④ 新学習指導要領にあわせた教育課程については、国や県の方針の動向を注視し、作成していく。また、評価については、観点別評価の見直しを行い、授業改善を図る ⑤ 校内ネットワークの保守管理については、台風時等にしっかり管理を行った。 ⑥ 主権者教育を計画的に実施した。選挙が文化祭当日にあったが、不在者投票について説明することで、比較的投票率は高かった。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的方策指標等を掲げ、教諭自らが意識改革を行うことで、教諭の日々の言動が生徒にも伝わり、取組の成果に繋がったと思います。特に生徒の自己学習力の育成は、朗読習慣を確立するために、図書日より・本祭り・葉プレゼントなどの仕掛けを工夫し、努力していることがすばらしいと感じました。指示待ちではない、何事にも自分で切り開く、生きる力の基礎となると思います。</li> <li>授業振替は、生徒に大変良い方策であると感じました。</li> <li>年間指導計画の見直し改善策の具体策が見えるとよい。</li> <li>校内ネットワークの保守管理がよくわからない。校内情報システム活用の推進策がわからない。</li> <li>選挙権が18歳までひきざげられましたが、投票所で見られる学生はわずかです。今後も教育の現場で主権者教育を推進してほしい。</li> <li>模試を実施することで生徒それぞれの学力向上の状況が把握でき、その後の進路指導等に大いに役立つと感じました。</li> <li>課外に関する実施状況、成果等がわかる資料等があれば良いと感じました。</li> <li>本を読むことで読解力や想像力が培われるとも言われているのでこれらの取組は今後も続けていきたい。図書館の活用法の検討をされるのも良いのではないのでしょうか。</li> </ul>
多様な進路に対応できる確かな学力を育成する。(基礎学力の向上と高度資格取得)	① 基礎学力診断テスト及び就職模擬テストを実施する。 ② 生徒の多様な進路に対応するため「ビルゲイツ課外」「公務員課外」を実施する。 ③ 進路指導便りの活用による学力向上意欲の喚起を図る。	① 本年度は、進路実力模試を新たに9月に実施し、4月に実施した基礎学力診断テストとの比較ができるよう改善した。 ② 高度資格取得課外の申し込む状況が減少傾向であり、来年度に向けて、講座の内容及び募集方法について検討する必要がある。 ③ 進路指導便りを定期的に配布する必要がある。	2		
生徒の自己学習力(自宅学習の在り方、考査前の自己学習の取組等)を育成する。	① 朝の10分間読書による読書習慣の確立を図る。 ② 図書閲覧室及び視聴覚室の利用促進を図る。 ③ 第2閲覧室の充実と利用促進を図る。	① 全クラスで静かに朝読書を行い、この時間を楽しんでいる生徒が多い。本を事前に準備する習慣を身につけさせる必要がある。 ② 「図書日より」で新着図書の案内をしたり、「第1回本祭り」を開催したりするなど、貸出や来館者をふやす工夫をした。 ③ 昨年度に引き続き、図書委員お手製の葉をプレゼントする本祭りを開催し、来館者の増加につながった。	3		
高度資格取得を推進する。(各種検定への挑戦)	① 確認テストなどを実施し、各生徒の理解度を把握し指導を行う。日々課題・小テストの継続により学習の定着を図る。 ② 資格取得の重要性を説き、それに向けた計画的学習を意識させる。	① 上位資格は、学習内容が高度であり、生徒の理解度に大きな差が出てくることから、重要なポイントについては、生徒の理解度を確認しながら進めを進める必要がある。 ② 授業以外でも集会等でも資格取得の重要性について指導し、生徒に目標をもたせることで、継続的に学習する態度をもたせる。	2		
3年間を見通したキャリア教育を確立する。	① 就職戦略コーディネータの先生と連携して、企業巡見や職員の企業巡検を実施する。 ② 県商業教育研究会と連携した面接指導や小論文対策を実施する。 ③ PDの時間(総合的な学習の時間)をキャリア教育に活用する。	① 生徒のみならず、保護者を対象にした企業見学も実施した。地元企業への理解も深まった。 ② 本校生徒にとって、他校の生徒と一緒に面接や小論文の指導を受けることで切磋琢磨が図れた。 ③ PDの時間を計画的に活用することで、生徒の進路に対する意識の変容が見られた。	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の夢・将来像を少しずつはっきりさせていくことが、今何を具体的にすべきかが見えてくると思います。そのためには多くの情報を得て思考することが大切だと思います。</li> <li>3年間を見通したキャリア教育を確立するために、PDの時間を大いに活用したことで、生徒自身の進路に対する意識の変容がみられたことはすばらしい成果であると思います。</li> <li>ポイントを押さえることで効率良く理解度を高められるのではないかと感じる。</li> <li>目標をもたせることは生徒のモチベーションも上がると思います。</li> <li>企業巡見については、生徒のみならず教員や保護者も参加するなど関心も高く、キャリア教育もしっかりと計画され、学校としてのバックアップ体制が整っていると感じる。</li> <li>全職員で面接指導を複数回されているということで、その成果が結果にも現れているのではないかと思います。</li> </ul>
生徒全員の進路保障を実現する。	① 進路の確実な自己実現を後押しして、生徒の夢を実現させる。 ② 小論文・面接指導の徹底を図る。	① 全職員で生徒への面接指導を行うことで、生徒も複数回の練習ができ、自信をもって面接試験に臨み、結果を残せた。 ② 大学入試等の小論文対策として、早い段階からきめ細かな指導を行った。	3		

【自律した品格ある生徒の育成】 本校生徒として誇りを持ち、言動に責任ある自律した品格ある生徒を育成する。					
評価項目	具体的方策 または 指標等	取組の成果と課題 および 改善策等	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価コメント
元気な挨拶の励行を推進する。	① 校門指導を実施する。 ② 遅刻指導の充実を図る。	① 校内での挨拶を定着させることで校外での挨拶につながる事が出来た。 ② 遅刻・欠席や容儀違反がないように全ての場面で継続した指導の徹底を図った。	3	3	・挨拶・遅刻・無断欠席・いじめ等、人として社会人としての基礎を高校生活の中で日常的に取り入れ、徹底して学べる環境というのはとても大切です。 ・校内では生徒たちが気持ちの良い挨拶をしてくれます。是非校外での挨拶も力を入れていただけたらと思います。 ・生徒の課外授業を見学する機会がありましたが、どの生徒も態度が良く学ぶという姿勢が見られました。 ・習慣を付けさせるといことは根強い取組が必要と思いますが、外部の評価等、日頃の教員の指導の賜物であると思います。 ・全国的にいじめの認知件数が多くなっている結果もあり、今後もアンケートや指導等をおこなっていただきたいと思っています。
授業規律を遵守させる。	① 学年集会や全校集会の中でマナー指導を行うことにより、授業マナーの向上を図る。 ② 清掃活動の充実を図る。 ③ 清掃への取りかかりや取り組みの点検活動を実施する。	① 授業時の態度は良好であった。 ② 生徒の全員清掃を確立するために、全職員の監督・清掃体制ができた。 ③ 美化意識の向上を図るため、清掃担当者名を掲示した。	3		
校則、交通法規、IT機器マナーなど遵法精神及び生命・人権尊重の精神を滋養する。	① あいさつ運動、校門指導や駐輪指導を実施する。 ② 防災訓練を通して、生命・人権尊重の精神を滋養させる。 ③ 人権学習の実施をとおして意識の向上を図る。 ④ 学年集会での服装容儀指導を実施する。 ⑤ インフルエンザ対策として窓を開ける習慣をつけさせる。	① 駐輪場の整理と整列を徹底することができた。校門でのあいさつ運動が定着してきた。生徒は熱心に挨拶運動に取り組んだ。 ② 防災訓練では消防署から高い評価をいただいた。 ③ 人権学習を計画的に行った。本年度は、LGBTの研修会を実施し、人権について、全職員で共通理解を図った。 ④ 服装容儀の指導を徹底することが出来た。 ⑤ 校内放送により、換気を促し、習慣づけることができた。	3		
積極的生徒指導の推進(面接指導の強化、生徒理解の深化、教員間の連携、保護者との連携、啓発活動、問題行動の早期発見・解決)	① 問題行動を未然に防げるよう、集会等での講話を行う。 ② 教育相談アンケート・いじめ等アンケートの実施し、いじめ等の未然防止を図る。 ③ 健康維持・増進の継続的指導を実施する。	① 教育活動の節目ごとに、全校集会や学年集会において、講話を行った。 ② 6月と11月の教育相談週間、4月と1月にいじめ等アンケートの実施し、結果を受け指導を行った。 ③ 保健に関する調査統計を通して、健康維持・増進の継続的指導に役立てた。	3		
生徒会、学科長会、部長・キャプテン会育成と自治意識を滋養する。	① 各部のキャプテンに対するAED講習会を実施する。 ② 部活動のキャプテン集会を実施する。 ③ 選挙年齢引き下げに伴う主権者教育を実施する。	① 2月実施予定である。 ② キャプテン集会を実施し、リーダー育成を図った。 ③ 計画的に実施した。また、学年集会において選挙への啓発活動をおこなった。	3		
生徒会を中心とした生徒主導の学校行事運営を推進する。	① 生徒会役員の立候補を促し、選挙を行う。 ② 文化祭の取組を通じて新しい文化の創造を図る。 ③ クラスマッチ、コマーソウル都商(販売実習)の成功を目指す。	① 実際の選挙投票箱を利用した生徒役員選挙を通して、生徒の自治意識が向上した。 ② 各クラス共に、クラス全員に取り組み、質の高い内容であった。 ③ クラスマッチ・販売実習ともに大成功であった。これらの行事を経験することで、生徒は大いに成長した。	4		
3年生が2年生へ、2年生が1年生へと都商文化・伝統の継承を推進する。	① 学科長を核とした学科に対する帰属意識を高揚させる。 ② 環境美化委員会及び図書委員会を活性化させる。 ③ 公共図書館の利用マナー指導を行う。 ④ 公共物愛護と奉仕の精神の養成をする。	① 集会、学校行事等で学科長の活躍し、学科のまとまりが見られた。 ② 清掃活動の定期点検を行った。 ③ 図書館の利用マナーは、良好である。 ④ 公共物の利用状況は、良好である。	3		

【部活動を通して高い人間力を持つ生徒の育成】 体育系部活動・文化系部活動を問わず、本校部活動の輝かしい歴史を継承するとともに、さらに高い目標に挑戦する。競い合い、助け合い、学び合う中で、高い人間性、人間力を持つ生徒の育成を図る。					
評価項目	具体的方策 または 指標等	取組の成果と課題 および 改善策等	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価コメント
部活動生は勉学と部活動の両立を第一とする。	① 定期考査前の部活動の自粛を呼びかける。 ② 部活動に加入していない生徒の指導を行う。	① 定期テキスト前でも練習している部活動が一部見られた。 ② 部活動に加入していない生徒の指導を丁寧に行った。	2	4	・文武両道は理想的だが、それを実践して実績を上げていることは生徒・教諭共に相当な努力の賜物だと感動します。その一方で、部活に加入していない生徒の指導も丁寧に行ったことできめ細やかな指導を行う教諭がいることに感謝です。 ・現在売り手市場と言われ、就職内定率も年々早く、高い水準を保っておりますが、専門高校として、資格取得の充実により、より企業から求められる人材の育成を図っていただきたいと思っています。 ・部活動は、学年問わず同じ目標に向かうことができるほか生徒同士の指導、人間性の育成にも大いに役立つと思いますので、今後も加入促進を図っていただきたいと思っています。
全国高校総体や高文連大会で上位入賞を目指す	① 地道な部活動を全職員で協力して応援できる体制を作り、実績を残す。 ② 派遣委員会を定期的実施する。	① 運動部、文化部ともに県内大会で優勝及び上位入賞し、全国・九州大会で実績を残した。 ② 週1回定期的に派遣委員会を実施した。	3		
生徒・保護者への部活動の教育的意義や目的を理解させ、健全な部活動を育成する。	① 企業への就職はもちろんのこと、大学等へも本校の部活動実績を広報に努める。 ② 各部活動の成績や写真をHPやPTA新聞に掲示し広報に努める。	① 国公立大学11名合格。 ② 各種の実績を広報することが出来た。アクセス数は、前年度同様、増加傾向である。	3		
部活動を通しての高い人間性や人間力の育成指導目標とする。	① 高い部活動の加入率を背景として部活動を通して人間性を育成する。	① 部活動加入率(5月時点)は、93%(男子93.9% 女子92.7%)であり、ほとんどの生徒が部に加入している。また、キャプテン集会を実施し、リーダーシップを図れるよう講話や指導を行った。	3		

**【地域文化を担い、貢献できる生徒の育成】** 地域社会と積極的に様々な交流を行うことで、生徒の見識を広めさせ、社会性や公共心の育成を図る。

評価項目	具体的方策 または 指標等	取組の成果と課題 および 改善策等	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価コメント
保護者・同窓会・地域社会との連携し信頼される学校を目指す。	① 朝のあいさつ運動と駐輪指導を実施する。 ② 自転車の施錠指導を実施する。 ③ 交通安全教室の実施で、交通事故ゼロを目指す。 ④ P T A総会やP T A活動への参加を増やす。	① 毎朝、部活動生と生徒会の生徒が校門付近であいさつ、駐輪整理を行った。 ② 交通安全委員会を中心に、定期的な指導を行った。 ③ 交通事故については、多く発生した。このことから、日々の担任の指導及び交通安全教室の実施などで防止を図った。 ④ P T A総会の出席率は約95.2%(二次集会含む)で多くの参加があった。夏は、P T Aバレーを実施し、多くの保護者及び教職員が参加し、相互の親睦を図れた。	3		・交通事故が多く発生したことは心配である。自分が安全ルールを守っていても事故に巻き込まれることもあるが、学校の指導だけでなく、家庭でも交通安全の会話や保護者の子どもへの朝の声かけも大切だと思います。コマーソウルは、前年も同様にとっても賑やかで生徒もパワー全開でした。「都城にはこの生徒たちがいるから未来が安心かつ楽しみ」と感じました。
地域の様々な行事や、ボランティア活動等に積極的に参加する。	① 都城市との連携を図り高校生の元気を地域の活力につなげる。 ② 地元開催の各種行事に積極的にかかわることで、地域を知る機会を持つ。 ③ コマーソウルを都城市の文化として根付かせる。	① 都城市の協力により、文化祭をM Jホールで実施することができた。また、青年会議所、高齢者クラブ等との連携により、交流の場ができ、微力ながら地域に貢献した。 ② ぼんち市及び大型商業施設のイベント等に積極的に参加し、好評であった。 ③ 販売実習は、本年度、M Jホールで実施し、来客数も多く、リピーターの方も数多く来場された。	3	3	・朝の挨拶運動を教員だけでなく、生徒自身にさせることは、する方もされる方も意識が変わると思います。 ・P T A総会の出席率が非常に高く保護者の学校に対する期待が伺えます。 ・何かをやり遂げるということを実践で学ぶことは、通常の教育だけでは学べないことも多いと思いますので、今後も積極的に取り組んでいきたいと思っています。
広報活動を通して、本校の教育活動状況を逐次発信し、中学校訪問の機会を増やすことで、中学3年生の都商進学希望者の増加に努める。	① 一体験入学（中学3年向け）を実施する。 ② 中学校での高校説明会に参加する。 ③ 学校要覧作成する。 ④ 学校パンフレットの作成・H Pの更新を行う。 ⑤ オープンスクール（中学2年向け）の開催する。 ⑥ 学校説明会（中学職員向け）を実施する。	① 体験入学は、生徒や職員の協力により滞りなく実施した。 ② 視覚的にわかりやすいプレゼンテーションを心がけ、管内中学校の全校に参加した。 ③ 年度当初、速やかに作成した。 ④ 学校案内パンフレットには、見る人が、3年間のイメージがわかるように作成した。H Pは、毎日、職員及び生徒により更新し、本校の情報を積極的に発信した。 ⑤ 12月16日に実施した。 ⑥ 10月3日に実施した。	3		・企業説明会でも母校出身者が先輩として企業説明を行うといった取組が増えており、中学校での高校説明会やオープンスクールにおいて生徒に学校での授業等の様子を説明させると生徒自身の成長にも繋がり、中学生も高校生への親近感や期待感が高まると考える。